

令和6年度の重点課題

【情緒面での課題】

○アンケートの結果から、女子の約3割が運動やスポーツをやや嫌いと回答している。

【体力面での課題】

○男女ともに、約半数の種目が平均値未満であり、特に20mシャトルランに課題が見られる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 持久力、走力を高めるために、体育の授業の準備運動中にインターバル走を取り入れ、向上を図る。また、保健委員の児童を中心に、脚力を伸ばすトレーニング動画を作成し、全校児童へ配信した。学級や家庭で取り組み、全校で運動を継続している。
- 教育委員会の「体育に関する指導者派遣事業」でオリンピックを招聘し、4～6年生を対象に「走り方教室」を行った。走る楽しさを感じたり、走ることへの関心意欲を高めたりできるようにした。
- 体力づくりのために縄跳びに取り組み、児童が自ら目標を立てて達成させ、持続的に取組みが継続するように指導した。
- 適度な運動を継続して行うことを指導するとともに学級レクや全校レクなどを行い、普段外に出て体を動かして遊ばない児童も外で体を動かす機会を設けた。
- 学習のめあてや運動のポイント等を確認し、自分の目標を持って活動に取り組んだり記録の伸びに気づいたりできるように指導を継続した。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.50	22.25	25.50	45.75	67.75	9.58	155.50	21.25	53.25	第5学年	15.71	19.14	37.43	40.86	33.86	9.96	151.57	15.86	55.71

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.50	22.25	25.50	45.75	67.75	9.58	155.50	21.25	53.25	第5学年	15.71	19.14	37.43	40.86	33.86	9.96	151.57	15.86	55.71

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.70	0.00	33.30	0.00	第5学年	42.90	28.60	28.60	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 持久力、走力を高めるために、昨年度に引き続き、準備運動中にインターバル走を取り入れる。(グラウンドの場合はサッカーゴール間、体育館の場合は外周で行う。)
- 体育の授業の中で、トレーニングを実施する。(保健委員が動画を作成)
- 3学期に行う「縄跳び」の授業で、児童に主体的に目標を設定させ、授業外の時間にも、縄跳びに積極的に取り組むように指導する。
- 体育科の内容に合わせて、お手本動画を視聴するや自分が実際に試行している様子を撮影、確認する活動を積極的に取り入れることによって、自分の今の姿と目指す姿を明確にさせるように指導を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- 保健委員を主体として握力に特化したトレーニング動画を作成し、全校児童へ配信し、各学級や家庭で体力づくりに取り組む。
- 体を動かす時間が増えるように、学級レクや全校レクを行う時間を設ける。
- 日常生活で握力を鍛えられるように、教具の作成をし、全校児童が実施できるように設置する。
- オリンピックによる走り方教室を実施する。

重点課題

情意面での課題

○質問紙調査の結果より、運動やスポーツを好きと回答している児童の割合は、男子は、56.7%で、女子は、71.5%であった。

○質問紙調査の結果から、運動やスポーツへのいろいろな関わりに興味があると回答している児童の割合は、男子は53.3%で、女子は42.3%と低い傾向にあった。中でも、運動やスポーツを支えること(教え合い、大会のサポートなど)の割合が低かった。

体力面での課題

○男女ともに長座体前屈と50m走について全国・県の平均値未満であった。

○男子は、長座体前屈の広島県・全国平均値を8点以上と大きく下回っている。

○学校全体で、握力が低い傾向がある。

令和7年度の重点目標値

- 男女ともに、握力と50m走の結果が平均値を上回る児童を増やす。
- 運動やスポーツへのいろいろな関わり方について、興味や関心が「ある」「ややある」と肯定的な回答を児童の割合を80%以上にする。